

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
1	漁業者	吉本 政信	60	男	漁業 (漁協長)	昭和54年3月 長崎県立島原高等学校卒業 昭和55年6月 島原市中央漁業協同組合正組合員加入 昭和57年4月 島原市中央漁業協同組合青年部部長就任 平成2年4月 島原市湊漁業協同組合(合併による)青年部部長就任 平成7年6月～平成9年6月 県南二区漁協青壮年部協議会副会長就任 平成23年6月 島原漁業協同組合(合併による)理事就任 平成26年6月 島原漁業協同組合代表理事組合長就任 平成26年6月 有明海栽培漁業推進協議会会長就任 平成26年6月 公財)有明海水産振興基金理事就任 平成28年6月 長崎県JF共済連合会運営委員就任 平成29年6月 長崎県南共第79号共同漁業権者会長就任 平成30年6月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事就任	40年	小型底びき網漁業 げんじき網漁業	南北高海区漁業協同組合会長	新宮 隆喜	—	—	—	島原漁協の代表理事組合長として組合員をまとめ漁業者間の諸問題や操業ルール等を取りまとめるなど、リーダーとして島原漁協の舵取りを行っている。若い頃から長崎県漁業協同組合連合会傘下の漁業青壮年部の県南二区副部長を務めるなど、漁業内部のことにとどまらず、広域の漁業の課題や取り組みに熟知している。 現在は当組合長会の監事も担われており、有明海全体の漁業調整に積極的に取り組まれている。よって、長崎県南部海区漁業調整委員会委員に適任者と思われる。
2	漁業者	吉本 政信	60	男	漁業 (漁協長)	昭和54年3月 長崎県立島原高等学校卒業 昭和55年6月 島原市中央漁業協同組合正組合員加入 昭和57年4月 島原市中央漁業協同組合青年部部長就任 平成2年4月 島原市湊漁業協同組合(合併による)青年部部長就任 平成7年6月～平成9年6月 県南二区漁協青壮年部協議会副会長就任 平成23年6月 島原漁業協同組合(合併による)理事就任 平成26年6月 島原漁業協同組合代表理事組合長就任 平成26年6月 有明海栽培漁業推進協議会会長就任 平成26年6月 公財)有明海水産振興基金理事就任 平成28年6月 長崎県JF共済連合会運営委員就任 平成29年6月 長崎県南共第79号共同漁業権者会長就任 平成30年6月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事就任	40年	小型底びき網漁業 げんじき網漁業	島原漁業協同組合	吉本 政信	—	—	—	島原漁協の代表理事組合長として組合員をまとめ漁業者間の諸問題や操業ルール等を取りまとめるなど、リーダーとして島原漁協の舵取りを行っている。 また、有明海進協の会長として、栽培漁業と資源管理型漁業の両立を目指し、本年には、有明海進協の中で、車ど漁業最盛期の期間中、月2日の定期休漁を取りまとめるなど、資源管理の重要性を説いてきた。 他にも長崎県南共第79号共同漁業権の会長として、共同漁業権内の漁協と連携を取りながら、業種や魚種別の漁場利用や他の漁協との漁業調整などにも取り組んでいる。
3	漁業者	本西 則安	62	男	漁業 (漁協長)	昭和48年3月 長崎市東長崎中学校卒業 昭和48年4月～ 小型底曳網漁業操業 平成24年6月～ 長崎市たちばな漁業協同組合理事就任 平成30年6月～ 長崎市たちばな漁業協同組合代表理事組合長就任 平成30年6月～ 長崎県かん水魚類養殖協議会監事就任 平成30年10月～ 財団法人橘湾栽培漁業推進基金理事就任 平成30年10月～ 橘湾栽培漁業推進協議会副会長就任 令和元年6月～ 長崎県漁業共済組合理事就任 令和2年10月～ 長崎地区沿岸協力会理事就任 令和2年10月～ 長崎市橘湾稲佐地区沿岸協力会副責任者就任	47年	小型底びき網漁業	長崎市たちばな漁業協同組合	本西 則安	—	—	—	組合員 本西則安氏(62歳)は小型底曳網漁業を営む漁業者で飾りがなく誠実で真面目な、地区内組合員からも信望の厚い組合長であります。特に、平成29年養殖業者の区画漁業権行使違反に問題解決のため自ら行動、また本年、小型底曳網問題について資源保護の観点から組合員等に対して様々な情報提供、情報交換や関係漁協、関係機関との連絡調整、また、本年7月豪雨及び9～10号台風の自然災害に長崎市への要望・要請を行う組合員目標で行動する組合長であります。このような事から、本西則安は海区漁業調整委員として漁業に関する十分な識見を有し、委員会の職務を適切に行うことができる組合長でありますので推薦します。
4	漁業者	村田 国博	57	男	漁業 (漁協長)	昭和56年3月 長崎県立島原南高等学校卒業 昭和56年4月～ 家業である漁業に従事する 平成16年6月～平成22年6月 島原半島南部漁業協同組合理事(副組合長) 平成22年6月～ 島原半島南部漁業協同組合代表理事組合長 平成27年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会監事 令和元年6月～ 長崎県漁業共済組合監事 令和2年10月～ 長崎県海面利用県南地区協議会委員	39年	わかめ養殖 刺網漁業	南北高海区漁業協同組合会長	新宮 隆喜	—	—	—	村田国博氏は、長年に亘り藻類養殖を主に漁船漁業を生業とし、長崎県漁業士の経験を積み重ね現在は、指導漁業士として地域水産業の発展や漁業者育成のため活動されている。ワカメ養殖では、島原半島地域持続的ワカメ養殖生産確保計画に参画し、安定的・継続的な生産を可能とすることを目的に広域で取り組んでいるほか地元である南有馬漁場では、ワカメ養殖業者の場所決めや生産本数に制限を設けるなど漁業者間の様々な問題解決に向けて取り組んでおられる。漁業経営安定のため漁業所得の向上を目指し、平成24年頃よりヒジキ養殖に取り組む。現在は生産者11名と成果が見られる。 島原半島南部漁業協同組合の代表理事組合長として現在10年目を迎えられ、漁業経営の健全化を図り、地域水産業の振興と発展に向け役職員の先頭に立ち推進されている。 当組合長会においては、副会長としてご尽力いただいております。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
5	漁業者	野田 清一	71	男	漁業	昭和39年3月 小長井町立小長井中学校卒業 昭和52年3月 小長井町漁業協同組合正組合員加入 昭和60年7月～平成6年7月 長崎県漁業協同組合青壮年部役員、会長 平成元年2月 長崎県指導漁業士に認定 平成2年7月～平成4年7月 全国漁青連理事 平成3年6月 小長井町漁業協同組合監事就任 平成9年6月 小長井町漁業協同組合理事就任 平成20年4月～平成30年3月 長崎県漁業士連絡協議会理事、会長 平成18年4月～平成28年3月 社会福祉法人遠竹保育園理事、理事長 令和2年6月 諫早湾漁業協同組合副組合長	43年	かき・あさり養殖業 刺網漁業	諫早湾漁業協同組合	新宮 隆喜	—	—	—	野田清一氏は昭和52年に小長井町漁協正組合員に加入以来、長崎県漁青連役員・会長及び全国漁青連理事を歴任し、若い漁業後継者の指導・育成に取り組まれてきました。また、平成元年に指導漁業士に認定され、その後30年まで長崎県漁業士連絡協議会理事・会長として漁業技術の向上、漁業振興、地域の小学校での料理教室による魚食普及等に尽力されてきました。 小長井町漁協では、平成9年から副組合長として漁業経営の安定、諫早湾のカキ養殖業振興等に貢献されています。 平成28年からは長崎県南部海区漁業調整委員に就任され、漁業調整等に積極的に取り組み、また合併した諫早湾漁業協同組合では副組合長として合併後の諸課題に取り組まれており、野田氏は海区漁業調整委員に適任と思われれます。
6	漁業者	野田 清一	71	男	漁業	昭和39年3月 小長井町立小長井中学校卒業 昭和52年3月 小長井町漁業協同組合正組合員加入 昭和60年7月～平成6年7月 長崎県漁業協同組合青壮年部役員、会長 平成元年2月 長崎県指導漁業士に認定 平成2年7月～平成4年7月 全国漁青連理事 平成3年6月 小長井町漁業協同組合監事就任 平成9年6月 小長井町漁業協同組合理事就任 平成20年4月～平成30年3月 長崎県漁業士連絡協議会理事、会長 平成18年4月～平成28年3月 社会福祉法人遠竹保育園理事、理事長 令和2年6月 諫早湾漁業協同組合副組合長	43年	かき・あさり養殖業 刺網漁業	南北高海区漁業協同組合会長	新宮 隆喜	—	—	—	野田清一氏は昭和52年に小長井町漁協正組合員に加入以来、長崎県漁青連役員・会長及び全国漁青連理事を歴任し、若い漁業後継者の指導・育成に取り組まれてきました。また、平成元年に指導漁業士に認定され、その後30年まで長崎県漁業士連絡協議会理事・会長として漁業技術の向上、漁業振興、地域の小学校での料理教室による魚食普及等に尽力されてきました。 小長井町漁協では、平成9年から副組合長として漁業経営の安定、諫早湾のカキ養殖業振興等に貢献されています。 平成28年からは長崎県南部海区漁業調整委員に就任され、漁業調整等に積極的に取り組み、海区漁業調整委員に適任と思われれます。
7	学経	浅川 勝	76	男	団体職員 (漁協長)	昭和37年3月 長崎県立長崎西高等学校卒業、長崎県信用漁連就職 昭和43年8月～昭和48年8月 貸付係長(漁業近代化資金発足) 事務合理化係長(電算化計画) 昭和48年8月～昭和52年8月 北松支所長(伊万里湾統信改革・系統初の電算化) 昭和52年8月～昭和57年8月 融資部長(経営維持安定資金) 昭和57年8月～昭和59年8月 北松支所長(北松統信広域化、全漁連資源管理型漁業WG) 昭和59年8月～平成2年8月 事務合理化部長(全国ワライ化方向付け) 融資部長、強化推進本部 平成2年8月～平成5年8月 対馬支所長(対馬統信広域化) 業務部長(経営管理システム) 平成5年8月～平成10年8月 全国ワライ化開発部次長 平成9年特別対策室総括(早期是正措置) 平成10年8月～平成16年1月 戸石漁協専務(経営再建、ワライが養殖、朝市他) 平成11年信連退職 平成16年1月～ 野母崎三和漁協組合長(経営再建、協業化複合化、市街地朝市) 平成21年5月～ 21年漁船保険理事、24年西彼漁協会長、漁連監事、調整委員 平成28年6月～ 28年漁連理事・基金協合理事、県南部海区漁業調整委員会会長 平成31年3月～ 野母崎三和漁協再建完了、30年県民表彰、市制功労者表彰	—	—	野母崎三和漁業協同組合	浅川 勝	—	—	—	長崎県信用漁業協同組合連合会における金融業務と協同組合運動の実践を通じて漁業経営や漁協組織のあるべき姿、組織運営の改善方策等に精通している。その成果は平成10年以降20年間に及ぶ長崎市戸石漁協(現長崎市たちばな漁協)と野母崎三和漁協の経営改善に発揮されている。 平成24年以降は西彼海区漁協会長及び長崎県南部海区漁業調整委員並びに同委員会会長を務めるとともに、県漁連、基金協合理事として系統組織運営に参画し改善に努めている。 以上のとおり長崎県南部海区漁業調整委員会学識経験委員としての資格と識見を有しており推薦いたします。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
8	漁業者	岡部 聖二	56	男	漁業	昭和58年3月 長崎県立長崎水産高等学校卒業 昭和58年4月～昭和60年4月 (株)魚棚水産(神戸市)研修の為入社 昭和60年4月～ (有)音丸水産 平成10年4月～平成23年3月 長崎県青年漁業士 平成23年4月～ 長崎県指導漁業士 平成10年4月～平成16年3月 野母崎三和漁協青壮年部部长 平成11年4月～平成16年3月 長崎県漁協青壮年部連合会理事、書記長、副会長 平成16年7月～平成25年7月 野母崎三和漁協代表監事 平成25年7月～ 野母崎三和漁協専務理事 平成16年4月～ 長崎県南部海区漁業調整委員会公選委員 平成21年6月～ (一財)長崎市学校給食会会長 平成24年4月～ (一財)長崎市地産地消振興公社理事	35年	中型まき網漁業	野母崎三和漁業協同組合	浅川 勝	—	—	—	青年漁業士、指導漁業士、青壮年部部长として磯焼け対策など地域での資源管理事業に積極的に取り組んできている。漁業調整委員としてもTAC制度の説明会や研修会、意見交換会に数多く参加し、漁業者の意見を反映すべく取り組んできている。 漁業経営については、漁獲物の付加価値向上を目指して旋網漁業における活魚化への取り組みをおこなうとともに、定置網漁業における無接触型の活魚取り組みを組合員に対し指導している。 漁場調整については、毎年開催する天草不知火海一本釣り漁業と長崎南部地区旋網漁業とのトラブル防止のための協議会に参加し積極的に意見交換を行っている。 以上のとおり、長崎県南部海区漁業調整委員会の漁業者又は漁業従事者委員として資格と識見を有しており推薦いたします。
9	漁業者	吉岡 巖	73	男	漁業 (漁協長)	1962年4月～ 漁業就業 1988年8月～2018年9月 布津町漁業協同組合理事 2000年9月～2010年3月 布津町議会議員 2010年4月～ 南島原市市議会議員 2018年9月～ 布津町漁業協同組合代表理事組合長就任	58年	ごち網漁業 一本釣り漁業	布津町漁業協同組合	吉岡 巖	—	—	—	長崎県南部海区(有明海において)、昭和50年より、ごち網漁業を営んでおり漁業経験は豊富である。昭和63年8月より、布津町漁業協同組合理事に就任以来、有明海における漁業の実態、漁業制度及び協定等は熟知している。 平成5年2月3日厚生省通達・ナシフグ販売禁止の際には、ナシフグ対策委員会会長に就任し、平成7年12月27日販売禁止解除を実現させた。 平成12年9月に布津町議会議員に当選以後、南島原市合併後も市議会議員を継続して勤め、地域住民の信頼も高く、漁業者との交流も盛んである。 平成30年9月より、布津町漁業協同組合代表理事に就任し、地区内漁協とも連携し漁業振興、発展に努めている。また、漁協青年漁業士を柱に漁業後継者育成にも積極的に取り組んでいる。 当該者・吉岡巖は、漁業者調整委員にふさわしい人物であると確信し推薦します。
10	漁業者	吉岡 巖	73	男	漁業 (漁協長)	1962年4月～ 漁業就業 1988年8月～2018年9月 布津町漁業協同組合理事 2000年9月～2010年3月 布津町議会議員 2010年4月～ 南島原市市議会議員 2018年9月～ 布津町漁業協同組合代表理事組合長就任	58年	ごち網漁業 一本釣り漁業	南北高海区漁業協同組合会長	新宮 隆喜	—	—	—	長崎県南部海区(有明海において)、昭和50年より、ごち網漁業を営んでおり漁業経験は豊富である。昭和63年8月より、布津町漁業協同組合理事に就任以来、有明海における漁業の実態、漁業制度及び協定等は熟知している。 平成5年2月3日厚生省通達・ナシフグ販売禁止の際には、ナシフグ対策委員会会長に就任し、平成7年12月27日販売禁止解除を実現させた。 平成12年9月に布津町議会議員に当選以後、南島原市合併後も市議会議員を継続して勤め、地域住民の信頼も高く、漁業者との交流も盛んである。 平成30年9月より、布津町漁業協同組合代表理事に就任し、地区内漁協とも連携し漁業振興、発展に努めている。また、漁協青年漁業士を柱に漁業後継者育成にも積極的に取り組んでいる。 当該者・吉岡巖は、漁業者調整委員にふさわしい人物であると確信し推薦します。
11	学歴	岡村 隆英	74	男	団体職員 (漁協長)	昭和36年4月～昭和39年3月 長崎県立大村園芸高等学校 昭和49年8月～平成21年6月 佐世保市南部漁業協同組合職員 平成21年6月～平成24年7月 佐世保市南部漁業協同組合理事 平成24年7月～ 佐世保市南部漁業協同組合代表理事組合長 平成25年5月～平成28年5月 佐世保市水産振興協議会監事 平成28年5月～ 佐世保市水産振興協議会会長 平成28年6月～ 石木ダム建設促進佐世保市民の会理事 平成29年3月～ 佐世保市地方創生推進協議会委員 平成29年11月～ 佐世保市環境政策審議会委員 平成30年6月～ 佐世保市国民保護協議会委員 令和元年7月～ 佐世保市地方卸売市場運営協議会委員	—	—	大村湾海区漁業協同組合会長	平野 重美	—	—	—	昭和49年から長年に渡り漁協業務に職員として携われており栽培漁業、資源管理等、豊富な知識と経験を有し、また、平成24年からは代表理事組合長として就任されており指導力に優れ、地元漁業の発展のためだけでなく、大村湾海区漁業協同組合長会の会員として大村湾全体の漁業についても問題意識をもちたれていることから適任であることを認め推薦する。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
12	学経	岡村 隆英	74	男	団体職員 (漁協長)	昭和36年4月～昭和39年3月 長崎県立大村園芸高等学校 昭和49年8月～平成21年6月 佐世保市南部漁業協同組合職員 平成21年6月～平成24年7月 佐世保市南部漁業協同組合理事 平成24年7月～ 佐世保市南部漁業協同組合代表理事組合長 平成25年5月～平成28年5月 佐世保市水産振興協議会監事 平成28年5月～ 佐世保市水産振興協議会会長 平成28年6月～ 石木ダム建設促進佐世保市民の会理事 平成29年3月～ 佐世保市地方創生推進協議会委員 平成29年11月～ 佐世保市環境政策審議会委員 平成30年6月～ 佐世保市国民保護協議会委員 令和元年7月～ 佐世保市地方卸売市場運営協議会委員	—	—	佐世保市南部漁業協同組合	岡村 隆英	—	—	—	栽培漁業及び資源管理等については、漁協の業務を通じ、永年に渡り携わってきたこと、また、漁業の振興については、大村湾、佐世保湾内でその一員となり、活動をしてきたことから、資源管理や漁業経営に関する多くの知識・経験を有し、海区漁業調整委員会の学識経験者としての活躍が期待されるため。
13	漁業者	菊地 彰彦	63	男	漁業 (漁協長)	昭和39年4月～昭和45年3月 瀬川小学校 昭和45年4月～昭和48年3月 瀬川中学校 昭和48年4月～昭和51年3月 長崎水産高校 昭和51年4月～昭和53年3月 長崎水産高校専攻科 昭和53年3月～昭和54年11月 海外漁業 第65海正丸(カツオー本約り) 昭和55年1月～昭和56年7月 第三久勝丸(カツオー本約り) 昭和57年1月～昭和57年12月 第28盛秋丸(カツオー本約り) 昭和58年1月～平成31年4月 瀬川汽船(株) 平成元年6月～ 地曳網漁業 平成13年6月～平成25年6月 瀬川漁業協同組合理事 平成25年6月～ 瀬川漁業協同組合代表理事組合長	35年	地曳網漁業	大村湾海区漁業協同組合会長	平野 重美	—	—	—	水産高校を卒業後、長年に渡り漁業に携われており平成元年からは地曳網漁業を営んでおられ漁業に関し豊富な知識と経験を有し、平成25年からは瀬川漁業協同組合の代表理事組合長を務めるなど指導力に優れ、地元漁業の発展のためだけでなく、大村湾海区漁業協同組合長会の会員として大村湾全体の漁業についても問題意識を持たれていることから適任であることを認め推薦する。
14	漁業者	菊地 彰彦	63	男	漁業 (漁協長)	昭和39年4月～昭和45年3月 瀬川小学校 昭和45年4月～昭和48年3月 瀬川中学校 昭和48年4月～昭和51年3月 長崎水産高校 昭和51年4月～昭和53年3月 長崎水産高校専攻科 昭和53年3月～昭和54年11月 海外漁業 第65海正丸(カツオー本約り) 昭和55年1月～昭和56年7月 第三久勝丸(カツオー本約り) 昭和57年1月～昭和57年12月 第28盛秋丸(カツオー本約り) 昭和58年1月～平成31年4月 瀬川汽船(株) 平成元年6月～ 地曳網漁業 平成13年6月～平成25年6月 瀬川漁業協同組合理事 平成25年6月～ 瀬川漁業協同組合代表理事組合長	35年	地曳網漁業	瀬川漁業協同組合	菊地 彰彦	—	—	—	推薦する菊地氏は、地曳網漁業代表者を平成元年度より父親から引継ぎ、今現在に至っている。また、平成13年度より瀬川漁協の理事となり平成25年度より組合長である。地曳網漁業は、4経営体が一漁場で輪番操業しており、漁場利用については4経営体で協議を行い、また、資源管理の為、協議により一斉休業期間を設けたりしている。地曳網漁業は、伝統ある漁法であり漁業従事者も多数おり漁協及び地域にとって大変重要な漁業である。このように菊地氏は漁業の豊富な経験とバランスの取れた調整力により、海区漁業調整委員会の委員として漁業の発展に活躍することが期待されるため推薦する。
15	漁業者	松尾 貢	72	男	漁業 (漁協長)	昭和39年4月～昭和42年3月 佐世保無線電信高等学校 昭和42年4月～昭和47年3月 日立製作所(横浜) 昭和47年9月～昭和50年12月 富健(西日本設備) 昭和51年4月～昭和52年3月 九州調理学校 昭和52年11月～ 漁業(探介藻・刺網漁業) 平成2年6月～平成8年6月 大村市漁業協同組合理事 平成11年6月～平成14年6月 大村市漁業協同組合理事 平成26年6月～令和2年6月 大村市漁業協同組合理事 平成17年6月～平成20年6月 大村市漁業協同組合代表理事組合長 令和2年6月～ 大村市漁業協同組合代表理事組合長 平成15年4月～平成31年2月 長崎県漁業士会	43年	探介藻漁業 刺網漁業	大村湾海区漁業協同組合会長	平野 重美	—	—	—	長年に渡り漁業に携われており、また長崎県漁業士会へも在籍しておられる経験を持たれることから漁業に関し豊富な知識と経験を有し、大村市漁業協同組合の代表理事組合長を務めるなど指導力に優れ、地元漁業の発展のためだけでなく、大村湾海区漁業協同組合長会の会員として大村湾全体の漁業についても問題意識を持たれていることから適任であることを認め推薦する。
16	漁業者	松尾 貢	72	男	漁業 (漁協長)	昭和39年4月～昭和42年3月 佐世保無線電信高等学校 昭和42年4月～昭和47年3月 日立製作所(横浜) 昭和47年9月～昭和50年12月 富健(西日本設備) 昭和51年4月～昭和52年3月 九州調理学校 昭和52年11月～ 漁業(探介藻・刺網漁業) 平成2年6月～平成8年6月 大村市漁業協同組合理事 平成11年6月～平成14年6月 大村市漁業協同組合理事 平成26年6月～令和2年6月 大村市漁業協同組合理事 平成17年6月～平成20年6月 大村市漁業協同組合代表理事組合長 令和2年6月～ 大村市漁業協同組合代表理事組合長 平成15年4月～平成31年2月 長崎県漁業士会	43年	探介藻漁業 刺網漁業	大村市漁業協同組合	松尾 貢	—	—	—	昭和52年から現在まで漁業に従事し、平成15年4月から平成31年2月までは長崎県漁業士会へも在籍しており漁業への豊富な知識と経験を有し、また、大村市漁業協同組合の組合長・理事を長年務めており指導力に優れることから海区漁業調整委員会の委員として漁業の発展に活躍することが期待されるため推薦する。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
17	漁業者	小林 一久	57	男	漁業 (漁協長)	昭和57年3月 長崎県立長崎商業高等学校卒業 昭和57年4月～ 小型機船底曳網漁業 平成28年6月～ 長崎市茂木漁業協同組合代表理事組合長就任 平成28年7月～ 共水連運営委員就任 平成28年8月～ 長崎県南部海区漁業調整委員就任 平成29年4月～ 日本漁船保険組合運営委員就任 平成30年1月～ 橘湾漁業振興対策協議会副会長就任 平成30年10月～ 橘湾栽培漁業推進協議会会長就任 令和2年10月～ 長崎地区沿岸協力会会長就任	38年	小型機船底曳網漁業	長崎市茂木漁業協同組合	小林 一久	—	—	—	平成28年6月に当組合の代表理事組合長に就任し、組合の経営・事業改革と経営基盤の充実に取り組み、地域の活性化にも力を入れている。平成28年8月には、長崎県南部海区漁業調整委員に就任し、漁業調整に取り組み、橘湾においては、底曳漁業とタチ釣・タチ縄漁業との漁場利用等について漁業調整を図っている。 また、橘湾栽培漁業推進協議会では、会長として放流事業について協議・実施を重ね資源管理に努めている。
18	漁業者	村田 国博	57	男	漁業 (漁協長)	昭和56年3月 長崎県立島原南高等学校卒業 昭和56年4月～ 家業である漁業に従事する 平成16年6月～平成22年6月 島原半島南部漁業協同組合理事（副組合長） 平成22年6月～ 島原半島南部漁業協同組合代表理事組合長 平成27年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会監事 令和元年6月～ 長崎県漁業共済組合監事 令和2年10月～ 長崎県海面利用県南地区協議会委員	39年	わかめ養殖 刺網漁業	島原半島南部漁業協同組合	村田 国博	—	—	—	村田国博氏は、長年に亘り藻類養殖を主に漁船漁業を生業とし、長崎県漁業士の経験を積み重ね現在は、指導漁業士として地域水産業の発展や漁業者育成のため活動されている。ワカメ養殖では、島原半島地域持続的ワカメ養殖生産確保計画に参画し、安定的・継続的な生産を可能とすることを目的に広域で取り組んでいるほか地元である南有馬漁場では、ワカメ養殖業者の場所決めや生産本数に制限を設けるなど漁業者間の様々な問題解決に向けて取り組んでおられる。漁業経営安定のため漁業所得の向上を目指し、平成24年頃よりヒジキ養殖に取り組む、現在は生産者11名と成果が見られる。 当漁協の代表理事組合長として在任10年目となり、漁協経営の健全化を図り、地域水産業の振興と発展に向け役員とともに努力されている。
19	漁業者	中澤 正弘	68	男	漁業	昭和44年3月 西海町立七釜中学校卒業 昭和44年4月～昭和53年4月 県内就職 昭和53年4月～ 漁業就業 平成16年6月～ 西海大崎漁業協同組合理事就任 平成24年8月～ 長崎県南部海区漁業調整委員	42年	一本釣り漁業	西海大崎漁業協同組合	小山 文雄	—	—	—	西海大崎漁業協同組合の理事を16年間歴任し、地域漁業者からの信頼があり、リーダー的組合員である。 また、周年、沿岸漁業に従事し、地域において規範的漁業者であり、特に西彼北部海域においての漁業の形態においても詳しく、海区調整委員として、2期の実績もある。西海大崎漁業協同組合として、南部海区漁業調整委員に推薦致します。
20	中立	五島 慎一	64	男	団体職員	昭和47年4月～昭和50年3月 長崎県立長崎南高等学校 昭和50年4月～昭和54年3月 長崎大学水産学部 昭和54年4月～ 長崎県入庁 平成20年4月～平成23年3月 水産部漁業取締室長 平成23年4月～平成25年3月 水産部水産振興課長 平成25年4月～平成28年3月 水産部資源管理課長 平成28年4月～平成29年3月 水産部参事監 平成29年5月～ 長崎漁港水産加工団地協同組合参事	—	—	大村湾海区漁業協同組合会長	平野 重美	—	—	—	五島氏は水産行政に38年間も従事し、在職中は、漁業調整、養殖振興、栽培・資源管理、水産物流通加工等の業務に従事しておられ特に、漁業調整に係る業務に20年以上携わり、漁業調整委員会事務局担当としても12年勤められていることから豊富な知識と経験を有しておられ海区漁業調整委員会の中立委員としての活躍が期待されるため。
21	中立	吉谷 均	68	男	無職	昭和45年3月 長崎県立長崎水産高等学校（水産増殖科）卒業 昭和45年4月～ 島原市農林水産課水産係（水産技術）奉職 平成18年1月～平成20年12月 水産課長 平成20年1月～平成22年4月 農林水産課理事（（水産係）（農業委員会分室）） 平成22年4月～平成23年3月 産業振興部農林水産グループ参事（耕地水産班長） 平成23年4月～平成24年3月 水道局長 平成24年3月 定年退職 平成26年6月～平成29年6月 第9期長崎県海面利用県南地区協議会（学識）（会長） 平成28年9月～令和3年3月 第21期長崎県南部海区漁業調整委員会委員（公益）	—	—	南北高海区漁業協同組合会長	新宮 隆喜	—	—	—	島原市の水産技術職員として41年の長期にわたり水産行政に従事、養殖漁業や漁船漁業の振興を図るとともに、旧国見町から口之津町までの市、町及び管内漁業協同組合で組織された有明海水産振興協議会の事務局、事務局長として行政と漁業との調整を図るなどして栽培漁業並びに資源管理型漁業の振興に尽力。 また、長崎県海面利用県南地区協議会委員としての経験と現在、長崎県南部海区漁業調整委員会委員に就任、公益代表として漁業調整に取り組んでおり、中立委員として適任と思われるので推薦します。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
22	漁業者	永田 直樹	57	男	漁業 (漁協長)	昭和56年3月 長崎県立長崎水産高等学校卒業 昭和56年4月 (旧) 高島漁業協同組合正組合員加入 昭和58年6月～平成9年9月 (旧) 高島漁業協同組合理事に就任 平成7年4月～平成17年3月 高島町議会議員 平成9年4月～平成28年6月 西彼南部漁業協同組合理事に就任 平成12年4月～平成17年3月 高島社会福祉協議会理事に就任 平成14年9月～平成17年3月 高島青年連絡協議会会長に就任 平成16年4月～平成17年3月 高島消防団団長に就任 平成28年6月～ 西彼南部漁業協同組合代表理事に就任 平成30年9月～ 日本漁船保険組合長崎支所運営委員に就任	39年	刺網漁業	西彼南部漁業協同組合	永田 直樹	—	—	—	漁協の合併時から理事職を務め、平成28年からは代表理事組合長に就任し、抜本的な改革のリーダーとして取り組み、業績が低迷していた組合を、就任間もなく黒字化した手際は、全組合員からも高く評価され、職員からの信頼も厚く指導力も優れています。組合のみならず地元高島町のまとめ役として、議会議員としての活動も経験しており、この幅広い経験値は長崎県南部海区漁業調整委員会委員の適任者と評価し推薦しました。
23	漁業者	山口 信広	64	男	漁業	昭和47年3月 佐世保市立宮中学校卒業 平成12年6月～ 佐世保市南部漁業協同組合理事 平成28年8月～ 長崎県南部海区漁業調整委員 令和元年12月～ 佐世保市民生委員、児童委員	48年	採介藻漁業 雑魚力ゴ漁業 刺網漁業	富田 安文 他23名	—	漁業	70	男	私は山口氏とは昔からの付き合いで町内は違いますが町のリーダー、漁協の役員も共に意見を話し合い、漁業の発展の為、努力をなされて居る人だと確信しており、山口氏も1期勉強され、本年12月から水協法もされる事と成りました。漁協役員20年の実績を活かし、漁業者でも若手でやる気十分と認め推薦致しますのでお取り計らいの程宜しくお願いします。
24	学経	山外 正二	56	男	団体職員	1982年3月 長崎県立島原工業高等学校建築課卒業 1982年11月～1985年9月 名古屋トヨベツ株式会社 1989年11月～1992年3月 島鉄観光株式会社 1992年4月～2001年4月 布津町漁業協同組合販売課入組 2001年4月～2018年4月 布津町漁業協同組合総括責任者就任 2018年4月～ 布津町漁業協同組合参事就任	—	—	南北高海区漁業協同組合会長	新宮 隆喜	—	—	—	被推薦者は、布津町漁業協同組合の参事として、有明海地区の漁業に長年にわたり携わり、現場にも精通している。 本県の水産調整に理解が有り、課題等についても精通し高い見識を有している。 以上から、学識経験者調整委員として推薦する。
25	学経	山外 正二	56	男	団体職員	1982年3月 長崎県立島原工業高等学校建築課卒業 1982年11月～1985年9月 名古屋トヨベツ株式会社 1989年11月～1992年3月 島鉄観光株式会社 1992年4月～2001年4月 布津町漁業協同組合販売課入組 2001年4月～2018年4月 布津町漁業協同組合総括責任者就任 2018年4月～ 布津町漁業協同組合参事就任	—	—	布津町漁業協同組合	吉岡 巖	—	—	—	被推薦者は、布津町漁業協同組合の参事として、有明海地区の漁業に長年にわたり携わり、現場にも精通している。 本県の水産調整に理解が有り、課題等についても精通し高い見識を有している。 以上から、学識経験者調整委員として推薦する。
26	漁業者	本西 則安	62	男	漁業 (漁協長)	昭和48年3月 長崎市東長崎中学校卒業 昭和48年4月～ 小型底曳網漁業操業 平成24年6月～ 長崎市たちばな漁業協同組合理事 平成30年6月～ 長崎市たちばな漁業協同組合代表理事組合長 平成30年6月～ 長崎県かん水魚類養殖協議会監事 平成30年10月～ 財団法人橋湾栽培漁業推進基金監事 平成30年10月～ 橋湾栽培漁業推進協議会副会長 令和元年6月～ 長崎県漁業共済組合理事 令和2年10月～ 長崎地区沿岸協力会理事 令和2年10月～ 長崎市橋湾福佐地区沿岸協力会副責任者	47年	小型底びき網漁業	西彼海区漁業協同組合会長	浅川 勝	—	—	—	本西則安氏は、平成30年に長崎市たちばな漁業協同組合の代表理事に就任し、地域の漁業者に対し積極的に指導を行っているほか、漁業者間の問題解決に尽力する等、行動力、指導力に優れた組合員からの信頼も厚い組合長です。 西彼海区漁業協同組合会長においても、漁業問題に対して客観的に判断し優れた調整能力を発揮されております。 長崎県かん水魚類養殖協議会の監事も担われ、漁業に関する幅広い見識を有し多角的視点からの意見が期待されるため、海区漁業調整委員として適任であると判断し、推薦いたします。
27	漁業者	小林 一久	57	男	漁業 (漁協長)	昭和57年3月 長崎県立長崎商業高等学校卒業 昭和57年4月～ 小型機船底曳網漁業 平成28年6月～ 長崎市茂木漁業協同組合代表理事組合長 平成28年7月～ 長崎県JF共済推進本部運営委員会運営委員 平成28年8月～ 長崎県南部海区漁業調整委員会委員 平成29年4月～ 日本漁船保険組合長崎支所運営委員 平成30年1月～ 橋湾漁業振興対策協議会副会長 平成30年10月～ 橋湾栽培漁業推進協議会会長 平成30年10月～ 橋湾栽培漁業推進基金監事 令和2年10月～ 長崎地区沿岸協力会会長	38年	小型機船底曳網漁業	西彼海区漁業協同組合会長	浅川 勝	—	—	—	小林一久氏は、平成28年に長崎市茂木漁業協同組合の代表理事組合長に就任し、組合経営において事業改革と経営基盤の充実に取り組むとともに、橋湾における漁業調整、放流による資源管理に努める等、漁業現場に精通し、幅広い見識を有しています。 西彼海区漁業協同組合会長においても、漁業問題に対して客観的に判断し優れた調整能力を発揮されております。 平成28年からは長崎県南部海区漁業調整委員会委員に就いており、地域代表として適任であると判断し、推薦いたします。



海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県南部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
32	中立	松下 吉樹	57	男	大学教員	1979年4月～1982年3月 和歌山県立日高高等学校 1982年4月～1986年3月 東京水産大学海洋環境工学科 1986年4月～2006年3月 水産庁（独）水産総合研究センター）水産工学研究所 農林水産技官～主任研究官 2006年3月～2013年3月 国立大学法人長崎大学水産学部助教授（准教授） 2013年4月～ 国立大学法人長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授 2008年8月～2012年8月 長崎県北部海区漁業調整委員会委員 2012年8月～ 長崎県南部海区漁業調整委員会委員 2017年8月～ 長崎県海面利用協議会委員 2010年4月～2019年3月 日本水産工学会評議員 2019年4月～ 日本水産工学会理事	—	—	西彼海区漁業協同組合長会	浅川 勝	—	—	—	松下吉樹氏は、平成18年に長崎大学水産学部の助教授となり、教鞭を執るとともに漁具の選択特性や漁獲性能等をテーマとした研究に尽力されてきました。その一方、平成24年から長崎県南部海区漁業調整委員会の学識経験委員として委員会の所掌事務に携わり、その経験は多岐にわたっています。大学教授としての専門的な経験のみならず、海区漁業調整委員としての経験を含めた広い視野により公平公正な職務を行うことが期待されることから海区漁業調整委員会の中立委員として推薦します。